

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和元年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立八ヶ岳牧場	所管課	農政部 畜産課
所在地	本場:北杜市小淵沢町大平10061 天女山分場:北杜市大泉町西井出8240-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和43年4月1日
管理方式	公益財団法人山梨県子牛育成協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立八ヶ岳牧場設置及び管理条例		
設置目的	農家家畜を受託放牧するとともに、県有牛を改良増殖し繁殖牛・肥育素牛を供給し、もって本県の畜産振興に資することを目的とする。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○敷地面積 約583ha</li> <li>○建物延面積6,202.67㎡</li> <li>○建物の構造 RC、鉄骨造</li> <li>○建物の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・八ヶ岳牧場看視舎 RC 250㎡ ・避難舎 鉄骨造 918㎡</li> <li>・分娩・衛生舎棟 389.67㎡ ・畜舎 鉄骨造 772.8㎡</li> <li>・育成牛舎 鉄骨造 581㎡</li> <li>・家畜排泄物処理施設 鉄骨造 1,811.2㎡</li> <li>・育成牛舎 鉄骨造 1,080㎡ ・飼料庫 400㎡</li> </ul> </li> <li>○その他施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>・草地:331ha(採草地77ha、放牧地254ha)</li> </ul> </li> </ul>		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)利用の承認に関する業務</li> <li>(2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務</li> <li>(3)家畜の飼養管理及び改良増殖に関する業務</li> <li>(4)牧草の栽培に関する業務</li> <li>(5)家畜排せつ物のたい肥化に関する業務</li> </ul>		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	
---------------------	--

## 3 利用状況

単位:人、%

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標値)
利用者数	受託頭数(延べ頭数)	123,187	124,083	116,917	
	利用者数合計	123,187	124,083	116,917	
	目標値	120,000	120,000	120,000	120,000
	目標値設定の考え方及びその理由	過去5年間の平均受託頭数で設定			
	対平成29年度比		100.7%	94.9%	
利用率		337.5 頭	340.0 頭	320.3 頭	

## 4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成30年度	令和元年度 (計画値)	令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)
収入	施設利用料	46,996,050	45,229,000	45,086,110	45,644,000
	指定管理者委託料	203,058,000	191,182,000	191,182,000	196,713,000
	その他				
	収入合計(A)	250,054,050	236,411,000	236,268,110	242,357,000
支出	人件費	140,381,644	136,724,000	133,082,141	142,090,000
	県への納付金				
	管理運営費	89,710,160	99,687,000	91,789,486	100,267,000
	うち外部委託費(B)	2,389,738	2,440,000	3,074,272	2,182,000
	支出合計(C)	230,091,804	236,411,000	224,871,627	242,357,000
収支差額(A-C)		19,962,246		11,396,483	
外部委託比率(B÷C)		1.0%	1.0%	1.4%	0.9%
一頭当たり指定管理者委託料		1,636.5	1,593.2	1,635.2	1,639.3

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:令和2年2月～3月 実施方法:令和元年度の預託利用者および売却牛と堆肥の購入者へのアンケート(聞き取り) 回答数:53名
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
家畜の受託に対する満足度	98.0%	2.0%		
県有家畜の売却に対する満足度	94.0%	4.0%	2.0%	
たい肥の売却に対する満足度	84.1%	15.9%		
八ヶ岳牧場の事業に対する満足度	84.1%	13.4%	2.5%	
施設全般の満足度	92.2%	7.8%		

利用者の意見	<p>【家畜の受託】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳後の3～4ヶ月齢くらいの繁殖後継牛を預かってもらい、そのまま種付けをお願いしたい。</li> </ul> <p>【県有家畜の売却】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜伝染病の関係で、払い下げた雌牛を繁殖用にできないので不便。</li> </ul> <p>【たい肥の売却】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完熟発酵しているので良いし、嫌な臭いがしない。</li> </ul>
利用者の意見への対応	<p>【家畜の受託】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和牛子牛の受入体制を整備するとともに、受託家畜を健康に育成すべく日常の飼養管理に取り組み、受託家畜の発育向上に努める。</li> </ul> <p>【県有家畜の売却】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜伝染病に対する衛生対策を徹底するとともに、血統や育種価を重視し県有牛の改良を進め、併せて飼料給与体系に関する情報提供や技術の共有を図り、県全域での管理技術の向上を図っていく。</li> </ul> <p>【たい肥の売却】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高品質なたい肥の生産に努める。</li> </ul>

## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設、備品等の保全管理を適切に実施するよう努めた。車輛、農機具の経年劣化による故障が効率的な業務執行の妨げになっているので今後計画的更新が必要である。	引き続き適切な保全管理に努めること。 老朽施設、備品等の更新などについて、引き続き、更新計画を整理すること。
運営業務	県内飼養戸数・頭数の減少傾向の中で、預託した家畜のほとんどが、人工受精技術で受胎させてもらえることが評価され利用者の多くはリピーターとなっている。更に新規利用者へのPRを行うとともに、家畜伝染病まん延防止対策を強化し、制限している冬期受託頭数を通常どおりに戻せるよう衛生管理と検査の徹底を図る。	受託頭数は目標達成に至らなかったが、県内飼養戸数・頭数の減少する中で、一定の利用頭数を維持していることは大変評価できる。引き続き、利用頭数の確保に努めること。 また、目標以上に生産子牛を供給できたことは高く評価できる。今後も県有牛の適切な管理に努め、生産子牛頭数を確保すること。
利用状況	積極的な中途入牧の受入等により、利用推進に努めたが、家畜伝染病の発生により利用頭数を制限せざるを得ず、目標達成に至らなかった。	施設内の衛生対策を徹底するとともに、積極的なPR活動により、利用者のニーズに応え、受託頭数の目標を達成できるよう努めること。
収支状況	利用推進に努めたことにより、収入は計画を上回った。また自給粗飼料の安定確保により乾牧草などの飼料費が節減されたことや、肥料散布体系の見直しにより肥料購入経費等の原材料費が節減された。	引き続き利用頭数の増頭に努め、利用料金収入を確保すること。 飼料費及び原材料費が計画より下回ったことは高く評価できる。今後も引き続き、経費の削減に努めること。
自主事業		
利用者満足度	牧場利用者の全ての人が、「満足」、「どちらかといえば満足」と回答しており、満足度は非常に高い。	利用者のほとんどから高い満足度が得られていることは、高く評価できる。 今後も継続して、利用者満足度の維持向上に努めること。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>家畜の年間受託延べ頭数は、家畜伝染病予防対策のため冬期間の受託頭数の制限をしたことが影響し、116,917頭となり、目標である120,000頭を3,083頭下回り、達成率は97.4%であった。      県有牛の供給頭数は154頭(うち子牛152頭)で、目標である130頭を24頭上回り、達成率は118.5%である。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>各種業務は適切に実施されており評価出来る。      家畜の年間受託延べ頭数については、施設内における家畜伝染病発生が影響するなどし、目標頭数を下回った。今後、衛生対策を徹底するとともに、引き続き、飼養管理技術の向上や未利用者へのPRに努め、受託頭数の確保を図ること。      利用者の要望に応えながら、家畜受託、県有牛の生産、堆肥生産等に努めること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>衛生管理を徹底するとともに、各業務を適切に行った。      夏期預託の受託頭数を増頭させることにより、受託延べ頭数の確保に努めた。      県有牛の改良や優良子牛の生産については、性選別精液や受精卵移植の活用など繁殖技術や飼養管理技術の向上を図り、利用者のニーズにあったサービスを提供することで、満足度の向上に努めた。</p>

7 管理体制(組織図)

平成31年4月1日現在

